

町政を問う！ 一般質問

9人の議員が松田町政をたず

質問した議員

平田文夫・福田 晃
高宮陽一・安部大助
遠藤義光・安部和子
池田信博・前田芳樹
齋藤幸広



熱心に傍聴をする中条小学校の児童たち

安部和議員 企業の農業参入・連携支援事業など事業内容の変更や翌年度への繰り延べなど、あまりにも変更が多いが、当初計画に無理がなかったか。

農林水産課長 企業からの申請をもとに検討しており無理はなかったと思っっている。
安部和議員 十分な検討がされたか。
農林水産課長 本人はもとより、県も一緒になって検討している。

齋藤幸議員 椎茸商品開発・流通・販売体制確立と加工施設建設が中止された。理由として、隠岐水産高校との調整が不調に終わったとの説明だったが、調整段階で何が問題となったのか。
農林水産課長 水産高校との技術連携を図り、原木しいたけ入りのサザエカレーなどの商品開発と加工施設建設を目指したが、加工段階をどこが担うのか等が詰めきれず、また、企業の負担も大き

八尾川遊覧船事業は

くなり踏み切れなかった。齋藤幸議員 加工施設の建設は就労の場となる。町として引続き取組むよう検討してほしい。

安部和議員 八尾川遊覧船の利用状況は。
観光商工課長 4月から10月までの乗船人数は2680人で当初計画の43%だった。



新しくなったかつば遊覧船乗り場



安部和議員 今後の対応は。
観光商工課長 旅行会社のパンフレット等への掲載や新たなコースも検討し、PR活動を強化して集客力アップに努める。

高宮議員 発着場を八尾川河口付近に移転することだが、発着場の表示やトイレ、休憩場所等はどのように考えているか。
観光商工課長 ポートプラザで乗船受付を行い、案内人が発着場まで案内を行う予定である。発着場には「のぼり」を設置するが新たな看板等は設置しない。
トイレは乗船前にポートプラザでの利用を案内する考えである。

定住促進住宅事業は

齋藤幸議員 県の予算が減額され、町内に希望者がなく中止したが、来年度はどうするか。
定住対策課長 県の事業は継続される。来年度は希望者が見込めるので引き続き取組む。

航空機利用促進事業は

齋藤幸議員 隠岐く出雲便の収支が赤字にならなかつたから補助をしなくて済んだとのことだが、その理由は。
観光商工課長 利用者は横ばいで増えてはいない。燃料費が前年比72・5%に納まり、人件費も企業努力で抑えることが出来た。更に、航空機の大きな修理がなかった。

齋藤幸議員 この航空機は他の路線でも使われているが、修理があつた場合の経費はどうするか。
観光商工課長 JACにはサブ機が11機あり、多数の路線に就航しており、各路線ごとに按分している。



守ろう生活路線

審議の結果は

どうなった？
議会の最終日に審議をしてきた議案に対して「採決」を行った。
次の議案は、一部の議員が反対をしたが、「賛成多数」で承認された。

- 議127号 指定管理者の指定 反対議員 池田信博 議員
- 議128号 反対議員 前田芳樹 議員
- 議129号 隠岐の島町過疎地域自立促進計画の制定 反対議員 前田芳樹 議員
- 同意1号
- 同意2号 隠岐の島町教育委員会委員の任命同意 反対議員 前田芳樹 議員

◎町長の発言と行動について

平田文夫議員



◎次期町長選への出馬は議員 町長は、平成20年10月の町長選挙において「借金は60億償還し290億円としたが町の経済・雇用は疲弊し人口は減少した。この諸問題解決に全力で取り組むので、今期限りは松田に託してほしい。」と住民の皆さんに訴えた。任期も折り返したが、次期選挙への出馬について町長の所信を伺う。

町長 問題解決に全力で取り組み自らが適切と思う時期に所信を表明する。
◎市街地整備の促進は議員 郊外量販店の立地交通環境の相対的悪化等

により中心部の商店街が閑散とし衰退に拍車がかかっている。安定的就業場所もなく生活基盤を選定していく上で働く場と消費生活の場と両面において非常に影響している。中心部で買い物しやすい環境づくりが求められているが町長の考えは。
町長 高齢化や交通環境の変化、大型店の郊外への進出などにより、中心部の商店街は利用者数も減少し、にぎわいが薄れ厳しい状況にある。色々な計画をすれど活性化に至っていない。
今後、更に、商工会と連携し商店街の環境づくりに努める。
◎キラリと光る 新隠岐の島町づくりは議員 まちの力は人であり、生産年齢人口の中心的作用を担う若者の減少は、地域経済の活力や「まち」の魅力の低下に繋がっており、更には、町づくりにおいて必要不可欠な地域

活動の担い手不足まで引き起こし活気まで低下させている。
人と自然と文化がつくるキラリと光る新隠岐の島町づくりについて所信を伺う。
町長 少子高齢化や担い手不足が進む中で、近い将来、地域運営が困難となる集落が増えることが予想され、状況を克服するため、若者にとって魅力ある町づくりに取り組む。
◎後継者育成の促進は議員 政府は、23年度の米生産量を18万トン減らし、生産者に苦痛を与えている。相対的競争力の低下、消費の伸び悩み、従業者の高齢化、後継者不足による生産量の減少に対する促進策について所信を伺う。
町長 高齢化及び後継者不足は顕著であり、経営の安定化を図り、生産・供給・流通システムの改善や安全・安心の体制づくり、学生への農林水産業の魅力PRなど就業促進に努める。

◎消火栓ホースの管理費は

福田 晃議員



の大幅減、また、高齢化率は30・21%が33・35%と3・14%アップしている。高齢化した各集落において消火栓のホースの交換にかかる費用が大きくなってきているのが現状で破れたホースがそのまま放置されているのでは心配される。

議員 県下で隠岐島の火災発生件数は多く、また町内の住宅火災による死亡事故が近年何件か起っている。住宅火災等の初期消火に消火栓は必要かつ重要な役割を果しているが、合併前は町村によって対応が違っていた消火栓・ホースの管理が、合併協において色々異論はあったが、設置は町が行い、その後の維持管理は各地区において行うと決定し、現在に至っている。

平成16年10月の合併時に比べ人口は現在15,886人で1,747人

隠岐の島町全体で778ヶ所消火栓が設置されホース一本約2万5000円として全体で約4000万円、耐用年数10年として年間約400万円の経費となる。町の厳しい財政も解るし、自分達の命と財産は自分たちで守るべきとした合併協定の重さも解るが、町民の命と財産を守るのも町長としての務めである。県内の他の町村の維持管理の状況はどうか。全額助成が無理なら2分の1の助成は可能と思うが見直す考えはないか。

町長 他の町村の状況は隠岐島内でも本土においても取り扱いは様々だ。また、提言のあった消火ホースの更新のための200万円の支出については、今後一層の厳しさが予想される町財政にとつて楽な数字ではない。

現在、地区において自治会費や町の地域活性化交付金を更新経費に充て整備している地区が数多くある。また、本町は、消防団による消火栓の現況調査を実施中で、修理可能なホースは補修する。調査の結果を踏まえ、諮問機関の消防委員会で議論いただき、今後の方針を決める。

議員 活性化交付金は3年間の助成であり、地区集会所の修繕助成金のよくな恒久な制度とする考えはないか。また、消防委員会はいつ開催し、結論を得る時期はいつか。

町長 現在、調査中でありまとまり次第開催し、早い機会に結論を出し報告する。

◎介護認定を受けていない高齢者へのサービス提供は

安部大助議員



化月間を作り、ヘルパーサービスを提供することもある高齢者のニーズに応える一つである。

公的であれば、個人情報にも立ち入ることが出来、民間ヘルパーでは出来ないサービスも出来るなど、介護と福祉との連携もしやすくなる。また民生委員や役場職員と一体となった見守りサポート推進員制度の確立が必要だ。

議員 本町では、サービス事業の実績から介護認定を受けていない高齢者の利用ニーズに対してサービスの量が不足している。

高齢者のもつニーズは多様に存在しているが、サロンや教室などへ参加を求めるサービスと平行して本人の所へ出向くヘルパー的なサービスも必要である。

例えば、地区担当制度を利用して、担当地区のお年寄りの家への訪問や役場職員で高齢者訪問強

お年寄りが出来るだけ長く住み慣れた地域や自宅で安心して生活が出来るよう、介護認定を受けていない高齢者に対する福祉サービスを町長はどのように認識しているかまた、今後どう取組んでいく考えか。

町長 全国的に一人暮らしの高齢者の孤独死や地域社会からの孤立が問題となっており、その対策が必要と認識している。



現在、見守りが必要とされる方に登録をしていただき、その情報を民生委員に提供し、日常生活において声掛けや相談等をお願い出来る。

議員 住民による組織だけでは限界があり、今後新たに見守りサポート推進員制度の確立や公的ヘルパー等、行政独自のサービスを発行していく考えはあるか。

町長 見守りサポートとして、例えば、一人暮らしの家に冷蔵庫を設置し食べもの等をお届けすることで利用者の現状把握を行う「命のバトン」の設置を前向きに検討していく。また、職員を動かすことは、時間外手当等の課題もあるので、自分たちの地域は自らということ、老人会の活動強化や地域と役場の太いパイプをつくっていく。

◎友好都市提携は

議員 隠岐の島町と大阪府豊中市が「空港で結ぶ

友好都市提携の協定を結んだ」との新聞報道があった。島の活性化や観光振興のために友好都市との提携は一つの手段であり、今後も進めるべきとは思いますが、現在の隠岐の島町には有効都市提携によって地域の活性化を図るための基本的な戦略や態勢が確立されていない。今後も友好都市提携を進めるのであれば、町民を巻き込んだ施策や態勢づくりをすべきである。



高宮陽一議員

◎豊中市との友好都市提携は ◎隠岐汽船ターミナルビルの活用は

今後どのような施策や態勢づくりをするのか。町長 豊中市は大阪国際空港の活性化と空港を活かしたまちづくりを進めるため、国内の就航都市との連携を強化する方針を掲げ、その一環として有効都市提携の提案を受けたが、隠岐空港の利用促進などを図る上で有効との判断から協定を締結した。島の活性化や観光振興のために友好都市提携は有効な手段と考えられており、今後、観光協会や商工会など関係機関との連携を強化しながら、スポーツや文化等を通して住民間の交流の促進、更には、特産品の販路開拓等へ繋がるよう努める。議員 結局は受身ではないか。この島で態勢づくりをしなから進めていくという戦略が必要と思うが、積極的に取り組む考えはないか。

町長 経緯からして受身と言われればそうかもしれない。島の活性化のためには、こちらから打って出ることも大切なことであり、更に検討する。◎隠岐汽船ターミナルビルの活用は 議員 隠岐の玄関口として隠岐汽船ターミナルビルが新装された。当初はターミナルビルを前出しして交流人口の拡大や地域活性化を図るとのことだったが夢で終わった。島の活性化や交流人口拡大のためには、まず、受け入れる側としての施策や態勢づくりが必要である。このターミナルビル及び周辺を活用して活性化が図られるよう、県当局・隠岐汽船・旅館・商店等の関係者で検討すべきと思うがどうか。町長 島根県・隠岐汽船観光協会・商工会などで構成する「西郷みなとオアシス協議会」が組織されており、西郷港の施設整備に併せ、人流、物流及び観光の拠点として、利活用の検討を行う。

議員 尖閣諸島は日本固有の領土、竹島も同様だ。海上保安庁の船が中国漁船に故意にぶつけられた。主権侵害、侵略行為とも言える事態を容認した政府の中国より外交は『日本は圧力をかければ譲歩する』という誤ったメッセージを発信し、ロシア大統領の国後島視察も容認、北方領土返還までも難しくした。北朝鮮の韓国ヨンピョン島への突然の砲撃で朝鮮半島の緊張が極度に高まり極東の平和と安全が揺らいで



遠藤義光議員

◎隠岐を守るために 自衛隊基地を誘致せよ

いる。北朝鮮の国内問題は深刻で、大量の難民が日本海に流出すれば隠岐への上陸の可能性も高い。無防備なわが町には難民の上陸を防ぐことは不可能だ。しかし自らの島は自ら守る気概が必要だ。国境離島として、国家国民のために果たす役割があるはず。平和を創り出す島としてすみやかに自衛隊基地の誘致と日米同盟を推し進めるよう国に働きかけよ。

町長 国境離島の果たす役割と機能の重要性は日ごろから訴えてきた。人が住み国民が多く来やすい環境を作ること国防上大きな抑止力となる。自衛隊基地の問題は国土防衛や安全保障に関する事柄で国の専権事項で必要とされる箇所に適宜配置されるべきだ。基地の存在が経済的メリットと生活環境へのデメリット

もあり、地域防衛の即応性も高まる反面、攻撃目標ともなりやすく住民の意見も分かれるだろう。厳しい状況だが、町長選挙でも表明してもいいし、現状では町民が役場へ押寄せる状況にない議員 経済的な影響は計り知れないし町民の期待も大きい。町民が押寄せから腰を上げては間に合わない、町全体で誘致の議論をする考えは。町長 経済5団体で防衛協会が設置されたが、その会議のなかでも誘致すべきとの話は一度も聞いていない。この件は十分に検討すべき課題であり安易に口に出すべきでない。

議員 安易には決められないが、現実には武器をもった難民が上陸して人質を捕って立てこもるようなことが起こった場合、どう対処するのか。町長 警察、海上保安庁当局と連携しながら、安全安心を確保する。それ以上は、県・国に対応してもらおう。

◎隠岐の島町音頭の製作を ◎隠岐病院周辺の整備は

安部和子議員



◎隠岐の島町音頭の製作を

議員 平成24年4月の新
隠岐病院開院記念行事で
隠岐古典相撲が開催され
る。この人情相撲は島の
誇りであり、大切な宝で
ある。未来、永劫に繋げ
ていかねばならないが新
しい文化の芽も必要では
ないか。隠岐は4町村だ
が、以前から一つと見ら
れている。そのイメージ
を強めるためにも、「新隠
岐の島音頭」をつくり連
帯意識の高揚に繋げ、活
性化をはかる事業として

作詞・作曲・振り付け等
の募集をすべきと思うが
どうか。
町長 島の一体感を持つ
ためには有効な手段であ
るが、平成11年に島根音
楽祭の時に作った『おき
三子州音頭』があり、こ
れを広めていきたい。
議員 立派な民謡だが、
ご当地ソングとは雰囲気
を異にする感もある。音
楽は交流を深める一番の
早道だ。是非、挑戦をす
べきと思うがどうか。
町長 次回の隠岐広域連
合正副会長会に提案し、
検討する。



周辺整備はどうなる

◎隠岐病院周辺の整備は
議員 安全・安心な島の
暮らしは「生命尊重」を重
点施策として取り組んで
いる。新隠岐病院周辺に
は老朽化した隠岐島消防
本部庁舎がある。消防本
部庁舎の移転新築も含め
島の医療対策の拠点とし
ての周辺整備をどう考え
ているか。
町長 平成24年に古川を
含む町道中町中条線道路
改良整備を計画している。
隠岐広域計画で消防本部
庁舎移転新築整備計画が
平成25年度以降にあり、
有力な候補地として隠岐
養護学校もあがっている
が、現在、方針は決定さ
れていない。
議員 候補地が養護学校
となれば、県及び関係者
には深いご理解を頂かね
ばならない。着手の目途
はいつ頃か。
町長 広域連合では、仁
万の里の建て替えが急が
れている。加えて消防本
部庁舎では財源的に困難
だ。養護学校は充分機能
を果たせる施設だが、今
後、検討したい。

◎下水道整備計画の再検討と修正を ◎上水道水源涵養林の伐採は

前田芳樹議員



りされている。岬地区は
36年度着手で40年度完工
という、全く事業計画の
態をなしていない。西郷
地区は42年度完工という
恐るべき悠長な計画とな
っている。
新町建設計画からの7
年間では、西郷地区に39
億円が投入されたのみで
中村・西村・伊後・五箇
岬は着手もおぼつかない
という。
中村は27年度完工を目
指すべきだし、五箇は23
年度着手して、後期5年
間で完遂するよう合併時
の公約を遵守して、今の
事業計画を再検討して修
正すべきではないか。
町長 五箇地区では23年
3月末までに各集落単位
での説明会を予定し、中
村地区では、既に5会場
で事業説明を行い、事業
進捗を図っており、早期
に事業を完遂したいと考
えている。

◎下水道整備の再検討を
議員 昨年6月議会で
の答弁では「平成23年度に
五箇農業集落排水を、29
年度に中村漁業集落排水
工事を整備するよう早期
着手を目指している」と
のことだった。
4力町村の約束である
新町建設計画では21年11
月から26年10月までの後
期5年間で整備される計
画だが、下水道事業費集
計表では、中村が30年度
着手で8年先送り、五箇
は25年度着手で7年先送

◎水源涵養林の伐採は
議員 現在、久見川上流
域で25haの笠松牧野の開
発が進行中であるが畜産
振興には欠かせないので
あり、開発そのものには
反対しない。
久見川は、下流で上水
道水源となっており、水
質改善のために8000
万円もの費用をかけて紫
外線殺菌装置を設置して
いる最中である。一方の
上流域では、牛の糞尿を
垂れ流す大規模装置を作
っている。この矛盾はい
つたにどうしたものか。
下流の久見地区へは何
の事前説明もない。水源
涵養林でも、町有林だか
ら畜産振興のためならど
んどん伐採してもいいと
考えているのか。これら
について事前の説明責任
を果たすべきだが。
町長 下流の久見地区へ
の事業説明の必要はある
ので早急に対応したい。
近隣の向ヶ丘地区の水
源対策や沈殿池の設置も
行う。

◎基金の活用で事業を

議員 本町では公共事業
の減少を理由に、事業所
の閉鎖、従業員のリスト
ラ等が行われ、就業人員
が減少している状況だ。
経済の浮揚、雇用対策
に繋がる事業を実施する
ことが重要であり、町と
して直ぐに出来ることで
もある。事業の選択は、
経済活動に参画している
人たちの提言を取り入れ
ることも一つの方法だと
考える。

◎基金の活用で事業実施を
◎新規事業の本町への誘致を
議員 隠岐広域連合では
消防署の移転新築先を隠
岐養護学校とし、隠岐養
護学校は旧今津小学校
(教育委員会)へ移転する
方針と聞いている。
今津への養護学校移転
は県教委と協議が済んで
いるか。
町長 隠岐広域連合の広
域計画で、消防本部庁舎
は、「早期の移転新築整備
に向け具体的に検討す
ることになっている。
3年前に県教育長と話
をして、「保護者の方々の
理解を得られ、隠岐島民
の方々がそのように望ま
れるなら移転も含め考
えることはやぶさかでない」という言葉をいた
だしているが、正式な協議
はしていない。
議員 今津地区に打診し
たと聞いているが事実か。
町長 今津区には正式な
説明も打診していない。
議員 養護学校・保護者
への説明が先ではないか
学校・保護者は不安感を
抱いている。
町長 来年早々に広域連
合で消防署の移転候補地
を、あらゆる角度から検
討し最適地を模索する。
隠岐病院との連携など
から、最有力候補地であ
る養護学校の場所に決ま
れば、まず、学校・保護
者の方々に説明する。
議員 教育長に何うが、
この件で隠岐広域連合か



池田信博議員

◎基金の活用で事業実施を ◎新規事業の本町への誘致を

そのためには、基金の
一部を経済・雇用対策に
繋がる事業を実施するた
めに積極的に活用せよ。
町長 本年度も国の補正
予算で、本町には二種類
の交付金で2億円余りが
交付されることが決定し
た。交付金については出
来るだけ早く地域活性化
のために活用する。
また、事業抽出の手法
については、事業計画の
策定方法と併せて、今後
検討する。
経済の活性化や雇用対
策に繋がる事業は積極的
に予算措置をし、補助金
起債など、有利な財源の
確保に努める。
◎新規事業を本町へ
議員 日本の貿易は太平
洋側中心のものが日本海
側港湾への物流のシフト
が顕著になっている。日
本の物流システムの変化
を捉え国境離島隠岐の島
町の活性化策の一つとし
て、国の電子政府構築計
画を踏まえ対象税関業務
が隠岐で出来るように、
関係機関に働きかけをす
る考えはないか。
町長 地域活性化対策は
身近な境港が経済交流の
物流拠点基地であり、韓
国とロシアを結ぶ定期貨
客船の基地などもあるこ
とから、将来は境港が日
本海沿岸のハブ港として
の活用が想定される。
西郷港は、島からの木
材や特産品などを国内外
へ搬出するための「境港
のサテライト」的な役割
を担う方が島全体の活性
化に繋がると思っている。
隠岐の島も新しい時代の
夜明けに遅れることなく
環日本海交流の「ど真ん
中」に位置する立地条件
を生かして、将来の島の
地域振興策が可能となる
ように、国や関係機関か
ら積極的な情報収集に努
める。

◎消防署の整備による 隠岐養護学校と教育委員会の移転は

斎藤幸広議員



をして、「保護者の方々の
理解を得られ、隠岐島民
の方々がそのように望ま
れるなら移転も含め考
えることはやぶさかでない」という言葉をいた
だしているが、正式な協議
はしていない。
議員 今津地区に打診し
たと聞いているが事実か。
町長 今津区には正式な
説明も打診していない。
議員 養護学校・保護者
への説明が先ではないか
学校・保護者は不安感を
抱いている。
町長 来年早々に広域連
合で消防署の移転候補地
を、あらゆる角度から検
討し最適地を模索する。
隠岐病院との連携など
から、最有力候補地であ
る養護学校の場所に決ま
れば、まず、学校・保護
者の方々に説明する。
議員 教育長に何うが、
この件で隠岐広域連合か

総務産業建設常任委員会

委員長 石田茂春

総務産業建設常任委員会に付託された議案は審議の結果、全会一致で「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

審査の状況と 主な意見

◆補正予算・条例関係
土地開発公社が所有する土地の固定資産税で課税漏れがあった。対象は犬来残土処理場と田部谷団地の土地であり、年額3000円、5年分で15000円である。町条例では減免の対象となることから課税しないことに同意した。



公債費負担対策として簡易水道・上水道事業で借りた借金返済する。これは、国が地方公営企業関係の主要施策の中で、高金利の地方債（借金）の負担軽減を図るものである。町は、平成22年度から24年度の3年間の地方債を対象として繰上げ償還を実施することで、利子負担の軽減が図れることとなり評価できる。

隠岐の島町過疎地域自立促進計画は、パブリックコメントを行なったが意見や問い合わせは1件もなかった。このことは期間も短く、また、町民に周知徹底されていないと指摘した。

事務事業評価は内部委員だけで実施しており、外部委員の評価はされていない。以前から外部委員を入れるようにと指摘しており、来年度からは外部評価委員を含めて実施するよう再度指摘した。
滞納徴収については、新たな滞納者が増えており、各課と情報を共有し徴収強化を図るよう指摘した。
八尾川観光遊覧船の運行状況は、目標に対しての乗船客は43%であり目標を大きく下回った。PR方法や更なる事業展開など課題を指摘した。
町道・林道等の管理はパトロールを実施し、適切な管理を行うよう指摘した。

審査の状況と 主な意見

◆補正予算・条例関係
隠岐の島町公民館設置条例の改正は、西郷公民館を中央公民館とし、布施・五箇・都万公民館を統括する組織体制に改めるものである。約2カ年にわたり、公民館のあり方、教育文化振興財団との関係、職員体制など、慎重に議論してきたが、一定の課題整理ができたと判断した。



新たになった都万公民館

委員長 安部和子
教育民生常任委員会に付託された議案は審議の結果、全会一致で「可決すべし」としたので、主なものを報告する。

委員からは、行財政改革の中での公民館体制のあり方や、中央公民館制度に異論もあったが、地域活性化や活力ある地域づくりを推進するためにも更に公民館活動を強化するよう指摘した。

〇民生児童委員の 一斉改選

任期満了に伴う民生委員・児童委員の改選が行われた。今日、民生児童委員の確保が難しい社会情勢の中で、隠岐の島町では委員の不在地区を生じることもなく67名の委員が選任された。

大変喜ばしいことだが委員一人当たりの担当する世帯数は、多い地区で338世帯、少ない地区では25世帯と不均衡な状況になっている。委員が速やかに活動できるように、担当範囲の均衡を図るよう指摘した。また、住民異動などは民生委員の活動の上からも重要であり、個人情報保護に留意しつつ情報提供が出来るよう要望した。

総合交通対策特別委員会

委員長 斎藤昭一

〇路線バス対策
町執行部から、平成23年度から本町が行う新交通システムの説明を受けた。

路線・便数の改善を踏まえ、隠岐一畑交通株と協議を行ってきた結果、運行事業者として参画する意思を示したため、今までの実績を考慮し妥当と判断した。

昨年春より、路線バス事業への参入を模索していた大新東株は、現運行事業者が撤退することが判明した場合にだけ参入することを基本としており、隠岐一畑交通株が継続する意向を示したため参入しない。また、本町としては、バス車両、車庫など整備しなければならず、多額の初期投資が必要となることから財政事情からみて困難であるとの判断。



どうなる路線バス

隠岐一畑交通株は貸切バス運行業務を行っており、団体観光客誘致に大きな役割を担っている。同社が撤退し、貸切バス運行がなくなると観光事業部門に大きな混乱が生じると予想される。隠岐一畑交通株が継続して新交通システムに参入するに当たり改善点を指摘した。サービス業として一番重要なことは、利用者への親切な応対だ。会社も心機一転、社員の基本教育を徹底し、利用者から喜ばれるような運行会社になるよう、担当課を通じ強く要求した。

委員長 平田文夫
隠岐の島町から多額の補助金を出している隠岐の島町社会福祉協議会の調査を実施した。特に、町村合併後、「社会福祉協議会の存在が薄れている」「社協が遠くなった」と言われており、理事や職員との意見交換、現場視察等も行いながら調査・検討した。
検討した主な結果は隠岐の島町社会福祉協議会や町当局に提言する。尚、町当局は、これらの事項を実現するため支援策を強化するよう要望する。
財政基盤の強化では、特に町民の皆さんを会員として一般会費・協力会費をお願いしているが、思うように徴収が出来ないことがある。対策として、社協職員理事など関係者が更に努力し、例えば旧村単位

行財政改革特別委員会

委員長 平田文夫



わしらの楽しみ中条デイサービス

や各地区に出かけ、社協の現状や活動状況について意見交換すること。指定管理を受けて実施している介護保険事業は本来なら町が行うべきだが、役場の役割や社協の役割等を明確にして取り組むよう検討すること。組織体制は、合併後、職員数も減少しており、各部門で兼務が行われている状態は好ましくなく適切な職員配置をすること。

隠岐広域連合議会報告

担当 是津輝和

広域連合議会が10月7日と11月24日に開催された。

主な議案は、隠岐病院の新築工事請負契約締結、平成21年度決算認定、条例改正、隠岐広域計画策定、平成22年度補正予算などである。

審議の結果、隠岐広域連合広域計画は、賛成多数（反対議員1名）で可決、それ以外の議案は、いずれも原案通り全会一致で可決された。

隠岐病院新築工事請負契約は、建築主体工事を16億4400万円、鴻池組と、電気設備工事は、5億7015万円、中電工・島根電工特別共同企業体と、機械設備工事は9億6495万円、三晃空調・野村水道特別共同企業体とそれぞれ契約を締結する

ものである。
決算認定は、決算審査特別委員長から審査報告があり、島前病院の未収金対策として、入院患者の保証人制度を導入することや、独居高齢者世帯への火災予防活動を町村と連携して行うこと等の改善を求めた上で認定したとの報告があった。
広域計画は、隠岐広域連合が行う事務について平成22年度、26年度までの5か年間の計画を決めたものであり、主な内容は、消防本部庁舎の新築整備の検討、消防救急無線のデジタル化、仁万の里の建て替え整備事業などである。
補正予算の主なものは隠岐病院の乳がん検査機器（マンモグラフィ）の導入及び人件費等の補正で、合計1億7658万円である。



皆さんの陳情や要望

採択したもの

基幹道路の早期改良を！

■ 県道・中村津戸港線と
国道485号線の交差点の早期改良についての要望

・ 提出者

中条小学校PTA会長
長谷川利之氏外3名



【理由】原則3割という高い窓口負担が受診者の大きな足かせとなり、経済的理由と思われる治療中断や受診抑制があるとのことであり、誰もが安心して受診出来るように医療費の窓口負担を軽減するよう国や関係機関に意見書を提出してほしいというものであり、その趣旨は理解できる。

【理由】この道路は隠岐の基幹道路であり、交通量も多く、更に、この交差点は変則的な十字路で信号機もない。特に児童生徒の通学路でもあり大変危険な状態である。
安全・安心の町づくりのためにも早期に改良する必要がある。



早期の改良が求められる交差点

■ 医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める陳情書

・ 提出者

島根県保険医協会会長
古沢正治氏

【理由】原則3割という

高い窓口負担が受診者の大きな足かせとなり、経済的理由と思われる治療中断や受診抑制があるとのことであり、誰もが安心して受診出来るように医療費の窓口負担を軽減するよう国や関係機関に意見書を提出してほしいというものであり、その趣旨は理解できる。

第4回臨時議会

去る11月22日に臨時議会が開催され、工事請負契約締結の議案を可決した。

◇ 隠岐の島町米貯蔵施設建築工事

- ・ 建設場所 下西 ライスセンター横
- ・ 工事内容 米貯蔵施設 1棟
(鉄骨平屋建 667㎡)
- ・ 契約金額 1億8270万円
(株吉崎工務店)
- ・ 契約の相手
- ・ 竣工 平成23年3月25日

隠岐の島町の施策課題に対応するための決議

1. 納税意識の高揚を図るとともに滞納徴収業務を強化すること。
2. 地場産業及び観光産業の振興と雇用創出策の推進を図ること。
3. 保健・医療・福祉の連携、強化を図ること。
4. 学力向上、教育行政の充実強化を図ること。

編集後記

例年にならない大雪の中での年明けとなったが、新年早々、大相撲初場所では隠岐の海関の活躍にテレビの前に釘付けとなった。

初の敢闘賞を受賞したことは、島民にとっても大きな喜びである。

今後、更に上位を目指し精進を重ねられ活躍されることを期待する。隠岐の島町も郷土力士の活躍にあやかり、躍進したいものです。

(文責 高宮)



工事中の米貯蔵施設